

第18回九州（日本）・韓国経済交流会議 合意文書

2011年11月16日（水）

於：大韓民国大田広域市

- 1 2011年11月16日、大韓民国大田広域市において、第18回九州（日本）・韓国経済交流会議が開催された。
- 2 「九州（日本）・韓国経済交流会議（以下、「本会議」という）」は、九州（日本）と韓国間の貿易、投資及び産業技術分野における協力の促進と双方の地域間経済交流を活性化させることを目的として1993年より毎年交互に開催しているものであり、「基本プログラム」に基づく事業の実現に向けて双方が共同で取り組んできた。今回のプログラムは次の通りである。
  - A．九州・韓国の中小企業間の経済交流拡大を支援するための分野別（環境、IT、人材等）協力の促進
  - B．九州・韓国ビジネス交流促進のための事業の積極的展開
  - C．九州・韓国地域間経済交流の積極的支援
- 3 第18回目となる今回の会議においては、滝本 徹 九州経済産業局長が九州側を代表し、朴 建洙 知識経済部産業資源協力室局長が韓国側を代表した。出席者名簿は別添のとおりである。
- 4 今回は、本会議とは別に併催事業として「大田・九州経済交流協会商談会」及び「WTA ハイテクフェア連携商談会」が開催された。両商談会においては、九州と韓国の企業とのビジネス交流を促進することを目的に、1対1での商談が行われた。
- 5 双方は、相互の経済交流を活性化させるために、様々な事業について意見交換し、事業の実施につき相互に協力することで認識が一致した。各事業の内容は別紙の通りである。
- 6 双方は、これらの協議を通じて、今回の会議が両地域間のビジネス交流の促進と協力関係の強化に大きく寄与する点を積極的に評価するとともに、今後ともビジネス指向性を高めた内容としていくことで認識が一致した。
- 7 双方は、第19回九州（日本）・韓国経済交流会議を九州で開催することとし、具体的な場所、時期等については、今後の協議を通じて決定することとした。